

えひめの海ごみについてもっと知る



底引き網漁ではたくさんのプラごみが網に引っかかります。

マイクロプラスチックは、大気中にもただよっている！

海のごみのほとんどは私たちの住んでいる街の中から流れてきたものです。海岸や河原を見ると、ペットボトルやレジ袋、お菓子の袋などいろいろなものが流れています。では、それらは一体どこから流れてくるのでしょうか？ポイ捨てばかりが原因というわけでもなさそうです。街から川、そして海へと流れ出したごみは、どこに行くのでしょうか？**マイクロプラスチックは、海だけではなく、ほこりとなって大気中にもたくさんただよっており、人を含む生態系への影響も心配されています。**



瀬戸内海には河川からも大量のごみが流れ込んでいます。



川の上流にもたくさんのプラスチックごみがあります。



おさかしょうぎょうだいがくこうぎょうがくぶ じゅんきょうじゅ
大阪商業大学公共学部 准教授
ほつじゅん だいのりじ
NPO法人プロジェクト保津川代表理事
はらだ よしお
原田 禎夫 さん

えひめ 愛媛の海岸に生息する 多種多様な生き物たち。

環境の良い砂浜には、スナガニというカニが生息しています。スナガニは、体の色が灰色から赤かっで、大きなものは甲羅の幅が2.5cmほどになります。砂浜の高潮線付近に直径2~3cmほどの深い巣穴を掘り、日没が近くなると巣穴を出て餌を採ります。スナガニは愛媛でも砂浜の減少などの要因で絶滅が危惧されています。**砂浜に多くのごみが漂着・堆積し汚染が進むと、砂浜を好む生物は巣を作ったり餌を採ったりすることが難しくなってしまいます。海岸への漂着ごみを減らすことは、スナガニのような砂浜の生物たちの住処を守ることもつながります。**



巣穴から出てくるスナガニ



ハマダンゴムシ



モミジガイ



えひめのけんこくごうがくはくぶつかん ぐけいけい
愛媛県総合科学博物館 学芸課
じぜんけんきゅう せんもんがくけいじん
自然研究グループ 専門学芸員
こばやし じんご
小林真吾さん

海に住む生き物が
海ごみの影響で
減っているデータ



えひめの海の未来のため、世界の海ひとりひとり身近なところ

う！ ～海ごみのスペシャリストたち～



今までに回収したごみ
トラック400台分！

瀬戸内海にある無人島などの浜辺には、何十年もの歴史のある漂着ごみが、層をなして大量に溜まっていることを知っていますか？

2016年に、船でしか行けない秘境の地で想像を絶するごみ浜を発見して以来、今日までに1,000カ所以上のごみ浜を見つけてきました。

2020年から2021年までに回収したごみの量は、およそ20トン(2トントラック10台分)。瀬戸内海の流れや地形から、ほとんどが瀬戸内海地域のごみだと言われ、その多くがプラスチックごみです。原型を保ったものや、細かく分解されたマイクロプラスチック予備軍など、大小さまざまなごみが浜辺を覆いつくし、更には水に浮かないプラスチックが海底に蓄積されているのが現状です。

普段の生活からごみを出さないように意識すること、落ちているごみを積極的に拾うことは、海ごみを減らし、美しい瀬戸内海を守ることに必ずつながります。

一般社団法人
ECオーシャンズ代表理事
岩田功次 さん

瀬戸内海だけでも
びっくりする量の
ごみだね！



瀬戸内海を守る！ 海の清掃船「いしづち」



海洋環境整備船「いしづち」

愛媛には瀬戸内海を美しく守るため、海面に浮遊するごみや油の回収を行う「いしづち」という海洋環境整備船があります。

2020年の7月の豪雨後の1ヶ月間では約1,600m³* (45リットルのごみ袋35,555個分)のごみを回収しました。人に捨てられたごみが、豪雨などにより海に流れ出たものも多くあります。普段の生活からごみを「出さない・拾う・分別」が未来の美しい海につながっていくと思います。

*四国地方整備局の海洋環境整備船「いしづち」「美護」「みずき」の3隻の回収量合計

国土交通省



潮目に集まる浮遊ごみ



浮遊油

海のため、まずは知ることが大切。
そこから意識してみよう。



海ごみのこと
分かってきたね！
自分には何が
できるか考えよう！